

《算数のかけ算・わり算の指導について》

鳥飼小学校では、算数のかけ算やわり算の文章題の学習において、ことばの式やシエーマ図、テープ図などを用いた授業を行っています。立式が苦手な児童にとっては、言葉の式や図に表すことで、数量関係を視覚的に見ることができ、何算になるかを考える手がかりになっています。また、立式の際は、問題文中の言葉に注目し、式にも単位をつけるよう指導しています。算数の学習について、ぜひご家庭でもお子様とお話ししてみてください。

ことばの式

《2年生・かけ算》

$$\boxed{1 \text{ あたりの数}} \times \boxed{\text{いくつ分}} = \boxed{\text{ぜんぶの数}}$$

《3年生・わり算》

$$\boxed{\text{ぜんぶの数}} \div \boxed{\text{いくつ分}} = \boxed{1 \text{ あたりの数}}$$

$$\boxed{\text{ぜんぶの数}} \div \boxed{1 \text{ あたりの数}} = \boxed{\text{いくつ分}}$$

《4～6年生・かけ算》

$$\boxed{1 \text{ あたりの量}} \times \boxed{\text{分量}} = \boxed{\text{全部の量}}$$

《4～6年生・わり算》

$$\boxed{\text{全部の量}} \div \boxed{\text{分量}} = \boxed{1 \text{ あたりの量}}$$

$$\boxed{\text{全部の量}} \div \boxed{1 \text{ あたりの量}} = \boxed{\text{分量}}$$

《倍・割合の計算》

$$\boxed{\text{比べられる数}} \div \boxed{\text{もとにする数}} = \boxed{\text{倍・割合}}$$

$$\boxed{\text{もとにする数}} \times \boxed{\text{倍・割合}} = \boxed{\text{比べられる数}}$$

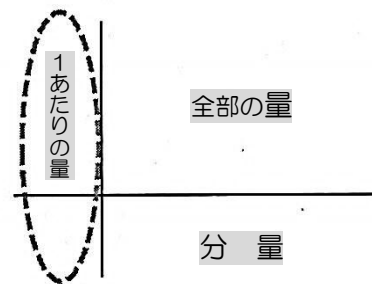
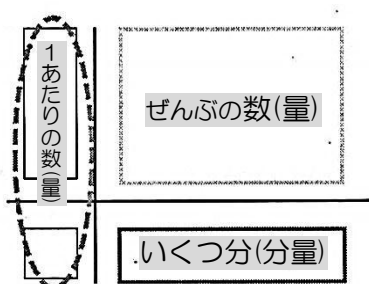
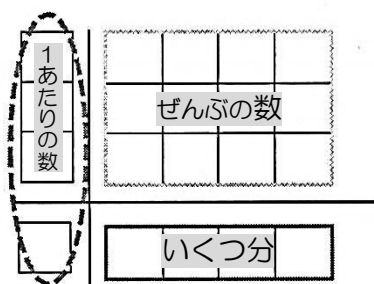
タイル図・シエーマ図

学年が上がるにつれて、図を簡略化し、より抽象的にしています。

《2年生》タイル図

《3・4年生》シエーマ図

《5・6年生》シエーマ図



文章題の単位指導

問題文をしっかりと読み、立式の際も単位をつけます。

【例】みかんが11こあります。

1人に3こずつ分けると、何人に分けられて、何こあまりますか。

(式) $11 \text{ こ} \div 3 \text{ こ/人} = 3 \text{ 人} \text{ あまり } 2 \text{ こ}$

(答え) 3人に分けられて、2こあまる。

